勞働組合ノ目的ガ勞働階級ノ權利ト福利ヲ增進スルニアルコトハ言フマデモナイ、然シ勞働組合ガ團体生活ノ規範デアリ立憲政治ノ象徴デアルコトモ見逃シテハナラヌ事實デアル。若シ我國ニ於ケル勞働階級ガ全部勞働組合ノ下ニ結合スルニ至レバ我國ノ立憲政治ガ理想的ニ運用サレ得ルコトハ毫モ疑フベキデナイ。元來勞働組合ハ組合員ノ總意ニヨリテ經營サレルノデアルカラ共産主義ナフアッショノ獨裁主義ト兩立スベキモノデナイコトハ明カデアル今ヤ我國ノ思想界ハ左右兩翼ノ獨裁主義ニヨリテ幾分ノ動搖ヲ見ントシテ居ル。此際ニ於テ日本勞働總同盟ノ年次大會ガ開催サレタコトハ眞ニ有意義ナコトデアルト云ハナケレバナラヌ。私ハ衷心カラ此大會ヲ祝スルト共ニ諸君ガ勞働運動終極ノ目的ニ向ツテ一路邁進サレンコトヲ望ム。

昭和七年十一月三日

安治 [illegible]

日本勞働總同盟御中

財團法人協調會大阪支所

浦鹽ニテ

鈴木文治

渡歐途上ヨリ遙カニ本日ノ大會ヲ祝シ一言メッセージヲ送リタイト存ジマス。

御承知ノ如ク今ヤ全世界ヲ擧ゲテ動搖變轉ヲ遂ゲツヽアリマスガワケテモ我國ハ、一ハ經濟界ノ不況生活ノ窮乏ヨリ、一ハ複雜ナル滿洲問題、國際關係ヨリ國民精神社會思潮ノ上ニ實ニ異常ナル變化影響ヲ與ヘツヽアルヤウニ看取セラレマス從ツテ我國ノ勞働運動モ亦十分ニ此變轉推移ニ注目シテ適正ナル方針ヲ決定シテ進ムコトガ最モ賢明ナル方法デアルト考ヘラレマス。一言ニシテ之ヲ蔽ヘバ思想運動的、革命運動的ナル方面ヲ淸算シテ現實主義ノ精神ニ立チ歸ルコトデアリマス又徒ラニ政治運動カブレヲセズシテ飽迄モ經濟運動タル本質ヲ發揮スルコトデアリマス。コレ實ニ一ハ時代ノ要求ニ添ヒ、一ハ勞働階級ノ要望ニ應フ所以デアツテ動モ

財團法人協調會大阪支所